

平成30年度小規模保育室いずみっこ自己評価

・保育目標

安心してすごせる第2の家庭となるような保育

ひとりひとりを大切にし、丁寧なかかわりをする

落ち着いた静かな環境の中で子供達の主体的な遊びを保障する

本年度の重点的目標

一人ひとりの発達を見ていく中で、0・1・2歳児のかかわりを大切にする

目標・内容	反省点
保育目標認識度	同じお部屋での遊びをそれぞれに充実させるよう職員間で話し合い、進める努力をした。
保育者間の連携	仕事の分担化を進めて行く中で保育者間の連携を進められた。さらに子どもへの関わる時間を多く取れるように効率化についても検討していく
保育内容	一人ひとりの生活リズムを大切にしていって行く中で、遊びの充実を図ることができるようになっていく。また、0・1・2歳児が一緒にいる生活を大切に、関わりが深まるよう心がけていく。
研修	昨年に引き続き園外研修に参加した。一人ひとり研修で学んだことを日々の保育にいかしている。 わらべ歌その他の園内研修では、事故防止などの研修を心がけた。
保護者との連携	連絡ノート・懇談を通して保護者とのかかわりがもてたが、さらに保育について家庭との連携が取れるように保護者の話を十分に聞くことを大切にしていける。
安全への取り組み	不審者対策など
総評	一人ひとりに合わせた生活、基本的かかわりを大切に進めることができた。発達を捉えながらさらに遊びを進めていきたい。